



PTC ソフトウェア製品 ThingWorx 製品向けライセンス基盤文書

本書の対象範囲

本書は、PTC の各 ThingWorx の許諾製品に関するライセンス基盤及びライセンス制限を定めている。大半の場合、本書はお客様が PTC から許諾を得たソフトウェアの使用に適用される法定文書の一部を構成する（併せて「ライセンス契約」という）。本書と、お客様によるライセンス購入の根拠となった PTC の見積書／製品スケジュール（以下「見積書／製品スケジュール」という。）との間に不一致がある場合は、見積書／製品スケジュールが優先するものとする。例えば、本書ではある製品がある特定の方法で使用許諾されるとされている場合であっても、見積書／製品スケジュールに記載された製品名に異なる使用許諾基準が指定されている場合は、見積書／製品スケジュールが優先するものとする。PTC は随時本書を更新することができるが、お客様による各購入には、購入時点で有効な本書の最新バージョンが適用されるものとする。

共通ライセンス基盤の記述

「登録ユーザー」(RU)：登録ユーザー製品は、ライセンスを使用する頻度に関係なく、一個人のみが使用できる。当該個人がライセンス製品に直接アクセスしているか中間アプリケーションを経由してアクセスしているかに拘わらず、すべての各個人に対してライセンスが必要になる。共有パスワード又はログインアカウントは、以下の特定の製品のライセンス使用許諾基準に異なる指定がされていない限り、許可されない。お客様は、新規登録ユーザーをその都度、追加及び／又は交代させることができるが、登録ユーザーの合計数がいかなる時点においてもその特定製品における有効ライセンス数を超えてはならない。さらに、仮に、以前登録していたユーザーが登録ユーザーの状況に戻った場合、以下の特定の製品のライセンス使用許諾基準に異なる指定がされていない限り、PTC のその時点で有効なレートに従い、PTC に新たにライセンス料を支払わなければならない。

「デモ及びテスト」：「デモ及びテスト」又は「非生産」を原則として（又は同様の指定に基づき）使用許諾される製品であり、当該許諾ソフトウェアを生産環境において使用することはできない。

「パッケージ」(P)：PTC 製品パッケージを構成するそれぞれのコンポーネント（構成成分）の使用許諾基準は、当該コンポーネントが別々に使用許諾された場合と同じものとする。但し、それぞれのパッケージのコンポーネントがパッケージのベースシート（主要製品）と共に使用される場合を除くものとする。例えば、SCO Connected のユーザーライセンスにバンドルされた Windchill PDMLink の登録ユーザーライセンスは、登録ユーザー基準で使用許諾され、ThingWorx SCO の登録ユーザー1名と組み合わせて割り当てられなければならない。

「バンドル」(B)：PTC の各バンドル製品は、いくつかの異なる PTC の許諾製品が含まれ、バンドルに含まれる当該各許諾製品の使用許諾基準が他の許諾製品と異なる場合がある。



複数の製品に共通するライセンス制限

サブスクリプションについて：「サブスクリプション」とは、製品名、見積書／製品スケジュール、注文契約書その他の注文書類、及び／又は請求書において規定された期間にわたり有効となるライセンスが含まれたオンプレミスのライセンスタイプであり、かかるライセンスには、当該ライセンス期間中に追加料金の発生しないサポート・サービスが含まれる。

永久ライセンス：PTCでは、ほとんどの製品に永久ライセンスモデルが存在していない。ただし、PTCが現在も永久ライセンスを販売しており、当該製品にPTCがホスティングにより提供するコンポーネント（ThingWorx Solution Centralなど）が含まれている場合、PTCはいつでも当該ホスティングコンポーネントの提供を中止することができる。

仮想化技術（Virtualization Technology）について：PTCが上記ライセンス方式を行使するため又は当該ライセンス方式の意図する内容を回避するために採用するライセンス制御機能を、仮想化技術によって回避することが可能な場合があっても、当該回避行為は、お客様のライセンス契約違反となる。前述を制限することなく、お客様は、仮想化技術の下で又はそれをおして、指定コンピューターのライセンス（又は「ノード・ロックライセンス」ともいう）をインストール又はアクセスしてはならないものとする。

アップグレード：許諾製品の旧バージョンからのアップグレード版の許諾は、PTCにより確認されたアップグレードとしての適格な旧バージョンを、最初に許諾されていなければならない。また、お客様は、関連するアップグレード版の購入時に当該許諾製品のサポート・サービスの契約が有効な状態でなければならない。アップグレード版をインストールした後は、アップグレード版として許諾された当該ソフトウェアに交換又は補完され、お客様はアップグレードを適格と認められる基となった旧バージョンを使用することはできない。

相互運用ツール／ツールキット：PTCの相互運用ツール（例えば、Pro/TOOLKIT、J-Link、Pro/Web.Link、アプリケーション・プログラミング・インターフェース）は、お客様（お客様自身又は第三者の支援により）が、許諾製品をお客様の他のコンピューターシステム及びプログラムとの間で相互運用できるようにする目的にのみ提供される。お客様は、その一部、全部にかかわらず当該相互運用ツールを第三者へ配布してはならない。さらに、当該相互運用ツールを使い、第三者へ配布するための新たな統合プログラムを開発してはならない。

バッチ：ユーザー数に基づいて使用許諾されるライセンスタイプ（登録ユーザーや同時ユーザーなど）の場合、ライセンスは、当該許諾製品若しくはそこに含まれている機能又はデータへのアクセス（直接的であるか、又はウェブポータルを通じて、又は許諾製品若しくはそのデータを「バッチ」し、その他それらへの間接的アクセスを実現する他の機構を通じてであるかを問わない）をする個人ごとに必要となる。共通又は共用のログインは、認められない。なお、本書に定義される「IoT Streams」製品をお客様が購入した場合、上記の制限は、お客様がIoT Streamsを使用してアセットデータをお客様の他のコンピューターシステムへ公開する権利を制限するものではない。また、ライセンス契約または本書に何らかの矛盾する規定がある場合であっても、View-Onlyライセンスは、ThingWorxプラットフォーム外のデータへのアクセスまたは消費をお客様に許可するものではない。

インスタンス：「インスタンス」とは、単一のアプリケーション展開を意味し、統一された構成で動作する1つ以上のアプリケーションサーバーで構成され、すべて物理的に同一サイトに配置され、共有データベースに接続されている。この構成は、顧客が使用する単一の環境をサポートすることを意図としている。



ThingWorx Smart Connected 製品及び ThingWorx Smart Connected Operations

ThingWorx 製品には、(1) ThingWorx Smart Connected 製品モデル、及び (2) ThingWorx Smart Connected Operations モデルというライセンスモデルがあり、各ライセンスモデルの詳細は以下のとおりである。両方のモデルにおいて、以下は許可されない。(a) お客様が第三者に使用させることを目的としたアプリケーションを開発するために ThingWorx の許諾製品を使用すること (ThingWorx SCP モデルにおいて、お客様の物理的な製品をインターネットに接続可能にする場合を除く) 又は、(b)お客様の顧客の施設及び/又は当該顧客のための第三者の施設のいずれかにおいて、許諾製品をインストールすることをお客様の顧客に許可すること。

ThingWorx 製品は、注文書類又は見積書/製品スケジュールに記載されたお客様の所在地 (所在場所) に出荷されるが、お客様は、許諾製品の使用をインストール国に限定することに関するライセンス契約の制限にもかかわらず、適用されるすべての輸出法、制限及び規制を遵守することを条件に、世界中のお客様の拠点で ThingWorx 製品をインストール、操作、及び使用することができるものとする。お客様はさらに、注文書類又は見積書/製品スケジュールに記載されているインストール場所以外の場所での ThingWorx 製品の使用に起因するすべての税金、関税ならびにその他の手数料及び金額に対して責任を負うことに同意するものとする。

ThingWorx Smart Connected Products (“ThingWorx SCP”)

ThingWorx SCP モデルでは、お客様に、お客様の製品に接続するための、及び IoT アプリケーションを組み立て稼働させるための IoT Platform が使用許諾される。ThingWorx SCP モデルにおける各許諾製品のライセンス基盤の詳細は、下表のとおりである。

許諾製品名	使用許諾基準
ThingWorx SCP Platform Edition (1)	SCP
SCP 登録ユーザー (2)	RU
Assets (3)	IoT
Software Content Management	(下記の注記 1 に定義されているとおり) 生産インスタンスごとにライセンスが必要
ThingWorx Analytics	下記注 4 参照
ThingWorx IoT Streams	下記注 6 参照
Additional Production Limited Instance (5)	SCP

(1)ThingWorx SCP Platform には、Premium Edition 及び Enterprise Edition という 2 つの Edition がある。ThingWorx SCP Platform の各 Edition には、本番環境の使用のための 1 インスタンスが含まれ、非本番環境の使用のみであれば無制限に使用できる。例えば、お客様が ThingWorx Production インスタンスを米国に 1 つ、欧州に 1 つ所有している場合、お客様は ThingWorx SCP Platform Edition を 2 つ所有する必要がある。ThingWorx SCP Platform の各 Edition には、以下の表のとおり、指定された数の SCP 登録ユーザー、Assets 及び ThingWorx SCP Platform Edition ごとに特有の機能が含まれる。複数の ThingWorx SCP Platform Edition



を購入する場合、ユーザーと Asset は共有され、各本番インスタンス間で割り当てられる。お客様が本番環境で有効化できる権利を有する各 Asset 又はユーザーについて、お客様は非本番インスタンスにおいても同様に Asset 又はユーザーを有効化できる。ThingWorx SCP Platform は、お客様の物理的な施設又はお客様が指定するホスティングプロバイダーにインストールすることができる。ThingWorx SCP Platform の各 Edition には“ThingWorx Remote Service Edge”又は“Edge Microservers”及び、お客様の Edge デバイスへの接続を追加するためにお客様が使用する ThingWorx SDK が含まれる。「ThingWorxRemote Service Edge」、「Edge Microservers」及び、ThingWorx SDK は無制限でお客様が購入した Asset に分配できるが、ThingWorx 製品と合わせての使用に限られる。

	Premium Edition	Enterprise Edition
Assets (同梱)	50	100
SCP 登録ユーザー (同梱分)	5	5
View-Only SCP Users	同梱	同梱
ThingWorx Analytics	入手不能	同梱(4)
ThingWorx Foundation	同梱	同梱
Technical Support	Gold (アップグレードとして Gold+を購入可能)	Gold (アップグレードとして Gold+を購入可能)
Software Content Management	入手不能	同梱
ThingWorx IoT Streams(6)	アドオン	アドオン

(2) 「SCP 登録ユーザー」とは、許諾製品を使用してマッシュアップ、アプリケーション及び/又はダッシュボードを開発する権限をシステム管理者から付与された個人による使用のために、ThingWorx Platform に直接又は中間アプリケーションを経由したアクセスを可能にするためのログイン ID をいう。この使用許諾基準は登録ユーザーの使用許諾基準の変形である。ユーザーは、個人を基準として数えるものとし、同時使用を基準としない。

「View-Only SCP Users」とは、許諾製品を使用し、ThingWorx Platform からアウトプットを消費するためだけに権限を付与されたユーザーをいう。当該ユーザーは、マッシュアップ、アプリケーション若しくはダッシュボードを開発又は修正する権限を付与されず、また、開発又は修正してはならない。View-Only SCP User は ThingWorx Platform のデータにアクセスするためのログイン ID を保持することができる。View-Only SCP User は制限されず、ThingWorx SCP Platform に含まれる。

(3) 「Asset (IoT)」(製品自体又はその他の部分において「デバイス」、「モノ」又は「遠隔装置」と呼ばれる場合もある)とは、感知装置(センサー)、装置(デバイス)、機械、システム、ウェブサービスなどであって、資産(又は許諾製品内において「デバイス」又は「モノ」)としてモデル化(表現)及び/又は登録されるもの、又はソフトウェア内で別の資産として取り扱われる場合には、前述の一部として別に定義されるものを意味する。例えば、Asset は、プレスブレーキ、工業用乾燥機、別のコンピューターシステム、又は、それらの機械の中にある個々の部品が、ソフトウェア内で別の資産としてモデル化又は登録される場合などであるが、これらに限定されない。「ゲートウェイ」とは、ThingWorx ソフトウェアに接続する複数のデバイスを管理し、1つのゲートウェイを介して複数の Asset が ThingWorx ソフトウェアに接続できるようにするコンピュータ又はポータルをいう。

「Simple Narrow Band Asset」(簡易型ナローバンド Asset) (NB)とは、業界標準の低出力ワイドエリアネットワーク (LPWAN) 又は 5G ネットワークで運用される Asset クラスであり、ThingWorx から Asset へのリモートアクセス不能、Software Content



Management (SCM) 機能がない、ファイル転送機能がない、といった制限がある。このタイプのアセットは、接続されていないが ThingWorx で表示されているアセットに使用することもできる。

(4) 「ThingWorx Analytics」は、モノのインターネットのための機械学習機能及び他の分析サービスを可能にする。ThingWorx Analytics は、ThingWorx SCP Platform Enterprise Editions とのみ連携して使用することが許諾されている。

(5)
PTC は Additional Production Limited Instance のライセンスを販売終了したが、既存のライセンスを保有するお客様については、Additional Production Limited Instance は、1つの物理的なロケーションには存在しない共有データベースに対応している複数のサーバーに1つのインスタンスを配置することを可能にする。Additional Production Limited Instance のライセンスは、前述の配置されていないサーバー毎に必要な。ただし、複数のデータベースがある場合には、インスタンスごとに1つの SCP Platform Edition を追加購入しなければならない。

(6) ThingWorx SCP Connected Asset IoT Streams 又は「IoT Streams」は、ThingWorx SCP Connected Asset IoT Streams 機能により、お客様は ThingWorx プラットフォームから外部システムへデータをストリーミングできる。外部システムにはコールドストレージソリューション、ビジネスインテリジェンス (BI) プラットフォーム、第三者のデータリポジトリなどを含むがこれらに限定されない。この機能により、高度な分析、長期保存、又は企業システムとの統合のためのデータストリーミングが可能になる。

この機能は、ThingWorx プラットフォームからデータをストリーミング出力する機能を提供する。ストリーミングされたデータを第三者システムで受信、処理、又は保存するために必要な追加のソフトウェア、ミドルウェア、又はサービスは、すべてお客様の責任となる。

IoT Streams は Asset 単位でライセンス供与される。IoT Streams 機能を使用してデータがストリーミングされる各 Asset (ストリーミング前に他の Asset のデータと集約されるか否かを問わない) に対してライセンスが必要である。

例：

お客様が ThingWorx に接続した2つの製品ラインを保有している場合：

- 製品ライン 1：100 Asset
- 製品ライン 2：50 Asset

お客様が製品ライン 1 の 100 Asset からのみデータをストリーミングする場合、お客様は 100 の ThingWorx SCP Connected Asset IoT Streams ライセンスを購入する必要がある。製品ライン 2 の Asset については、そのデータがストリーミングされない限りライセンスは不要である。

お客様は、権利付与された Asset が接続されている本番環境インスタンスにおいて IoT Streams を利用できる。さらに、お客様はテスト目的ですべての非本番環境インスタンスにおいて IoT Streams を利用できる。制限事項：各 IoT Streams ライセンスは特定の Asset に紐付けられている。対応する IoT Streams ライセンスを持たない Asset からのデータストリーミングは許可されない。



PTC は ThingWorx SCP Professional Edition の販売を終了したが、Professional Edition の既存ライセンスを保有するお客様には、以下の特典が含まれる：

	Professional Edition
Assets (同梱)	75
SCP 登録ユーザー (同梱分。同梱数を超える場合は別途購入要)	5
View-Only SCP Users	同梱
ThingWorx Analytics	同梱
ThingWorx Foundation	同梱
Technical Support	Gold
Software Content Management	含まれない

ThingWorx Smart Connected Operations (“ThingWorx SCO”)

ThingWorx SCO モデルでは、お客様の製品に関連した、お客様の社内の生産システムや製造プロセス、製造オペレーションなどに接続して、それをモニタリングするための IoT Platform が使用許諾される。SCO ソリューションにはいくつかのモデルがあり、これらは Site (以下に定義) ごとに販売され、加えて SCO 登録ユーザーにも販売される。お客様は、購入した Site ごとに、複数の本番及び／又は非本番環境の ThingWorx サーバーを配置することができる。

SCO Solutions Models

SCO ソリューション モデルに適用される定義

- 「Custom Application」 (カスタム アプリケーション) は、(i) PTC が提供する標準アプリケーションのカスタマイズ、又は (ii) PTC によって作成されないソフトウェアアプリケーションであり、お客様のニーズと要件に対応しながらエンドユーザー向けにビジネスの使用事例として構築されたものをいう。Custom Application は、ThingWorx プラットフォーム技術を用いて開発され、バックエンドコンポーネント、サービス及びマッシュアップの組み合わせにより構成される。
- 「SCO 登録ユーザー」とは、ThingWorx Platform に直接アクセスするか、又は PTC、お客様、又はパートナーがプラットフォーム上で開発した中間アプリケーションを経由してアクセスする人をいう。ThingWorx Platform 又は中間アプリケーションを表示又はアクセスするすべてのユーザーは、ログイン ID が一意のユーザーに関連付けられているか、アクセスするデバイスに対して汎用的であるかに拘わらず、登録ユーザーライセンスが必要となる。Standard 及び Premium の SCO 登録ユーザーは、購入した Site ごとに 1 つのみ ThingWorx アプリケーションにアクセスできる。各 Site の追加アプリケーションごとに、追加のユーザーライセンスが必要となる。
- 「SCO Solutions Enterprise User」は、Site ごとに SCO Solutions Enterprise バンドルで購入した場合、複数のアプリケーションにアクセスできるように SCO 登録ユーザーを拡張する。



- 「SCO Connected User」とは、SCO アプリケーション内の作業指示書及び関連データ（文書又は図面）を閲覧する目的で Windchill に対してビューのみのアクセス権を持つ登録ユーザーをいう。このライセンスは、Windchill の一般的なビューアクセスや ThingWorx Navigate View アプリのインストール及び使用権限をユーザーに付与するものではない。
- 「Site」（サイト）とは、ソフトウェアが使用される単一のお客様の建物又は接続された一連の建物を意味する。接続された建物の場合、業務自体又は材料のプロセスフローの間に物理的な障壁がないことが必要である。

SCO Solutions Standard Model - SCO Solutions Standard Model では、お客様は、PTC が提供するアプリケーションに関連してのみ ThingWorx を使用でき、制限されることなく、お客様が Custom Application を開発したりすることはできない。お客様は、SCO Solutions Standard Model の中にある out-of-the-box（既存）アプリケーション（ソリューション）で提供されるマッシュアップを編集することができるが、（直接又は既存のマッシュアップを過度に編集することによって）新しいマッシュアップを作成することは禁止される。PTC の SCO Solutions Standard Model の使用許諾基準では、アプリケーションが展開される Site ごとの料金が必要になる。SCO Solutions Standard Model には、以下の表に示す機能／権利（SCO 登録ユーザー数を含む）が付属されている。当該表の権利を超える SCO 登録ユーザーについては、追加料金が必要となる。

SCO Solutions Premium Model - PTC の SCO Solutions Premium Model では、お客様が ThingWorx プラットフォームを使用して Custom Application を作成し、SCO Solutions Standard Model のアプリケーションを拡張／カスタマイズすることができる。PTC の SCO Solutions Premium Model のライセンスは、Custom Application を展開する Site ごとに料金が発生する。SCO Solutions Premium Model には、以下の表に示す機能／権利が付属されている。

SCO Solutions Enterprise Model - PTC の SCO Solutions Enterprise Model では、お客様は購入時に利用可能なすべての ThingWorx の標準アプリケーション（すなわち DPM、AMU、CWC、RTPPM）に特定の Site でアクセスし、ThingWorx を使用して SCO 目的の Custom Application をその Site において開発することができる。PTC の SCO Solutions Enterprise Model の使用許諾基準は、アプリケーションを展開する Site ごとに料金が発生する。SCO Solutions Enterprise ユーザーは、1つの Site で Custom Application を含むすべてのアプリケーションにアクセスすることができる。複数の Site を購入した場合、ユーザーを購入した任意の Site に割り当てることができる。SCO Solutions Enterprise Model には、以下の表に示す機能／権利が付属されている。

SCO Solutions Custom Enterprise Model - PTC の SCO Solutions Custom Enterprise Model では、お客様が ThingWorx を使用して、Site において SCO 目的の Custom Application を開発することができる。Solutions Custom Enterprise Model には、PTC Standard Model のアプリケーションへのアクセスは含まれない。PTC の SCO Solutions Custom Enterprise Model の使用許諾基準は、アプリケーションを展開する Site ごとに料金が発生する。SCO Solutions Custom Enterprise Model のユーザーは、1つの Site のすべての Custom Application にアクセスすることができる。複数の Site を購入した場合、ユーザーを購入した Site に割り当てることができる。SCO Solutions Custom Enterprise Model には、以下の表で指定された機能／権利が付属されている。



	SCO Standard (DPM, AMU, CWC, RTPPM)	SCO Solutions Premium Edition	SCO Solutions Enterprise Edition	SCO Solutions Custom Enterprise Edition
SCO 登録ユーザー（同梱分。同梱数を超える場合は別途購入要）	アプリケーションごとに25	なし	Site 毎に 100 同梱	
Custom Application Creation	該当なし	無制限		
ThingWorx Foundation	同梱			
ThingWorx Apps (DPM, AMU, CWC, RTPPM)	購入したアプリケーションへのアクセス（1 Site 毎）	該当なし	すべてのアプリ同梱	アドオン
ThingWorx Analytics (1)	アプリの要求に応じて	同梱		
ThingWorx Building Blocks	同梱			
ThingWorx IoT Streams (2)	アドオン			
Software Content Management	なし	アドオン		
Technical Support	Gold（アップグレードとして Gold+を購入可能）			

(1) ThingWorx Analytics は、モノのインターネットのための機械学習機能及び他の分析サービスを可能にする。ThingWorx Analytics は、ThingWorx SCO Platform Enterprise Edition と併用するためにのみ使用許諾される。

(2) ThingWorx IoT Streams 又は「IoT Streams」：お客様が ThingWorx プラットフォームから、コールドストレージ、ビジネスインテリジェンス（BI）プラットフォーム、その他の第三者データリポジトリなどの外部システムへデータをストリーミングすることを可能にする。この機能は、分析、コンプライアンス、長期保存といったユースケースにおけるスケーラブルなデータオフロードをサポートする。

この機能は、ThingWorx プラットフォームからデータをストリーミングする機能を提供する。ストリーミングされたデータを第三者システムで受信、処理、又は保存するために必要な追加のソフトウェア、ミドルウェア、又はサービスは、すべてお客様の責任となる。

各サイトライセンスにより、お客様は以下の権利を有する：

- ライセンス対象サイトに所在するすべての Asset 及びシステムからのデータの無制限ストリーミング
- ライセンス対象サイトに展開されたすべての本番環境及び非本番環境の ThingWorx サーバーにおける IoT Streams の使用

制限事項：

- 本ライセンスは、購入された特定のサイトに限定される
- ライセンス対象サイト外に所在する Asset 又はシステムからのデータストリーミングは、サイトライセンスの下では許可されない
- IoT Streams 機能を使用する各サイトには、個別のライセンスが必要である。



ThingWorx Machine Builder (MB) Bundles

ThingWorx Machine Builder Bundle (MB) は、MB のお客様がお客様の製品を接続し、エコシステム全体で共有できる IoT アプリケーションを作成するための ThingWorx プラットフォームのライセンスを付与する ThingWorx バンドルである。MB バンドルの許諾製品ごとの使用許諾基準は、次の表で詳しく説明される。

	MB Starter	MB Tier 1	MB Tier 2	MB Tier 3
Asset with ThingWorx Kepware Edge - SCP Connectivity per Asset (1)(2)	25	250	1000	2000
SCP 登録ユーザー	5	5	5	5
View-Only SCP Users	同梱	同梱	同梱	同梱
ThingWorx Premium	同梱	同梱	同梱	同梱
Technical Support	Gold (アップグレードとして Gold+ を購入可能)			
ThingWorx Analytics	別途購入要	別途購入要	別途購入要	別途購入要
Software Content Management	別途購入要	別途購入要	別途購入要	別途購入要
Asset Advisor	同梱	同梱	同梱	同梱
ThingWorx Kepware Edge	25	250	1000	2000

- (1) SCP/Machine Builder Bundle モデルに含まれる Kepware の権利は、ThingWorx SCP/MBB ソリューションでの使用に限定され、ThingWorx との接続のみを提供する。SCP/Machine Builder Bundle モデルに含まれる Kepware ソフトウェアを単体で使用することはできない。お客様は、他の用途のためにエンタプライズ Kepware 接続パッケージを購入することができる。
- (2) ThingWorx Kepware Edge ライセンスは「Connected Asset」(コネクテッドアセット) を基準として販売され、見積書/製品スケジュールの製品説明で特定される指定された数のタグ(基本的にはデータ項目)に制限される。Kepware Edge ライセンスには、単一のリモートデバイス又はゲートウェイを ThingWorx SCP プラットフォームに接続する接続レイヤーが含まれる。